

### 法政大学トレーニングセンターにおけるアスレティックトレーナー活動について：2023年トレーナールーム活動報告

FUJIMURA, Naoki / 藤村, 直樹

---

(出版者 / Publisher)

法政大学スポーツ研究センター

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

法政大学スポーツ研究センター紀要 / BULLETIN OF Sports Research Center, HOSEI UNIVERSITY

(巻 / Volume)

42

(開始ページ / Start Page)

87

(終了ページ / End Page)

91

(発行年 / Year)

2024-03-31

(URL)

<https://doi.org/10.15002/00030573>

## 法政大学トレーニングセンターにおけるアスレティックトレーナー活動について —2023年 トレーナールーム活動報告—

### Athletic Trainer Activities in the Hosei University Athletic Facility —Report of Athletic Trainer Activities in 2023—

藤村 直樹 (法政大学多摩トレーニングセンター アスレティックトレーナー)  
Naoki Fujimura

#### 要 旨

昨年に引き続き、本年も多摩トレーニングセンターにはAT有資格者が配置された。昨年度よりもトレーニングセンターの利用制限が緩和され、各体育会の利用者も多く見られた。トレーニングセンター内のトレーナールームに関しても、昨年と同じく1年を通して一定の体育会利用者の対応を行うことができています。今回は昨年との比較を交えつつ、利用者の対応内容や目的、その傾向など報告するものである。

キーワード：アスレティックトレーナー， トレーニングセンター， トレーナールーム， 体育会サポート

#### Abstract

As in the previous year, a qualified AT was installed at the Tama Training Center again this year. Restrictions on use were relaxed from last year, and a large number of athletic students were present. In the trainer's room, we continue to be able to provide a certain level of support for students. Compared to last year, we will report again this year on the trends of users and the procedures and their purposes.

Key Word : Athletic Trainer, Athletic facility, Trainer room, Support for Athletes

#### I. 緒言

本学の多摩トレーニングセンターのトレーナーにおいては、2019年4月より再度AT有資格者（並びに鍼灸あんまマッサージ指圧師国家資格保持者）を配置する運びとなっている。昨年、一昨年から引き続き、新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大の影響の影響から、トレーニングセンターの利用に際しては一定の制限を設けた形で開放した。しかしながら、5月8日から新型コロナウイルス感染症（COVID-19）について感染症法上の「新型インフルエンザ等感染症」に該当しないものとし、「5類感染症」に位置づけることとなった。それに伴い、トレーニングセンターにおいても利用枠の増大（同時に2団体迄トレーニングセンター同時刻の利用を許可）などのさらなる緩和を行い、トレーニングセンターでの積極的な体育会活動が、コロナ禍以前の状態に戻りつつある。

トレーニングセンター利用に際しては、引き続き利用時にはコーチ、マネージャー、学生トレーナーにご協力頂き、消毒や換気などの衛生管理を十分に行った。加えて、付随するトレーナールームでの選手対応においても、検温および体調確認、マスクの着用や事前事後のアルコール消毒を徹底し、大声を出すといった飛沫を飛散させるような行動は控えるよう促した。また、今回一般学生利用を設けるにあたり、スポーツ健康学部ヘルスデザインコースにてトレーナー教育を受け

ている学生スタッフを管理者として配置、利用者に対する感染対策教育やトレーニング指導を行った。

昨年度よりもトレーニングセンターの利用者も多くなり、それに付随してトレーナールームを利用する学生の幅も広がった。コロナ禍においては一定の体育が多くを占めることとなっていたが、トレーニング面、救急対応などの介入を含め、昨年よりも多くの団体、学生との関わりを持つスペースとなりつつある。

このように、今年も安定したトレーニングセンターの運営を継続しつつ、トレーナールームにおいて一定人数の体育会利用者の対応を行うことができた。以下に利用者の対応内容や目的、その傾向などを報告するものとする。

#### II 対象と方法

##### 1. 測定対象者および調査期間

対象者は、アスレティックトレーナー有資格者（兼：鍼灸あんまマッサージ指圧師資格保有者）が在室する際に、多摩トレセントレーナールームを利用した本学に在籍する学生とした。調査期間は2023年1月～2023年12月とした。

##### 2. 対応件数および処置内容分類に関して

利用者の集計に際して、対応した処置人数及び処置件数を1

部位につき1件として示すとともに、以下の項目で処置した内容を分類し、示すこととした。

2.1 処置目的

処置目的を、Check・Conditioning（以下 Cond）・Reconditioning（以下 Recond）・Acuteの4項目に分類し、その割合を示した。分類の詳細に関しては以下の通りとした。

Check…評価・状態の確認のみ

Cond…マッサージ希望や試合練習前/後の調整など、明確な主訴の無いもの

Recond…アスリハや局所テーピング対応や外傷障害に対する施術、局所部位の明らかな主訴のあるもの

Acute…外傷・障害に対する急性期の対応

2.2 処置部位

処置部位に関しては、Condの場合、体幹・上肢・下肢・全身の4項目に分類するとともに、Recond・Check・Acuteの場合はさらに細分化し17の部位に分類を行い、件数を示した。

2.3 処置内容

処置内容については、Manual Therapy（マッサージおよび徒手療法、以下 MT）・Stretch（ストレッチ、以下 ST）・Exercise（運動療法やトレーニング指導および処方、以下 Ex）・Taping（テーピング、以下 Tape）・Acupuncture（鍼治療、以下 Acu）・Icing（アイシングおよびそれに付随する処置、以下 Ice）・hemostasis（止血処置、以下 Hem）の7項目に分類し、その割合を示した。

III 結果

1. 処置人数および処置件数

調査期間中のトレーナールーム利用者は延べ189名、総処置件数は204件であった。月間の利用者推移に関しては、図にて示した（図-1）。併せて前年と比較した利用者数の変遷も提示するものとする（図-2）。比較した際に、昨年度とよりも利用者数が減少したようにも見えるが、2022年のデータ上にはOBおよびOGのデータ（56名）も含まれている。そのためそちらの件数を除くと、昨年度よりも同程度、若干増加傾向にあるといえる。

2. 処置目的

処置目的別割合について以下の図にて示した（図-3）。CondとRecondが大半を占め、評価のみのcheckは0件。Recondの件数が昨年度より増加しており、Recondの割合は昨年度と同様に高い。明らかな主訴を抱える状態で来室する利用者が多いことがみてわかる（図-4）。

3. 処置部位

処置部位に関してCond、Recond別に比較したものを示した。Condでは全身の割合が大部分を占め、下肢、上肢と続いた。Recondにおいては大腿後面（主にハムストリングス）が32件で最も多く、次いで僅差で足関節、膝、腰部と続いた（図-5）（図6）。

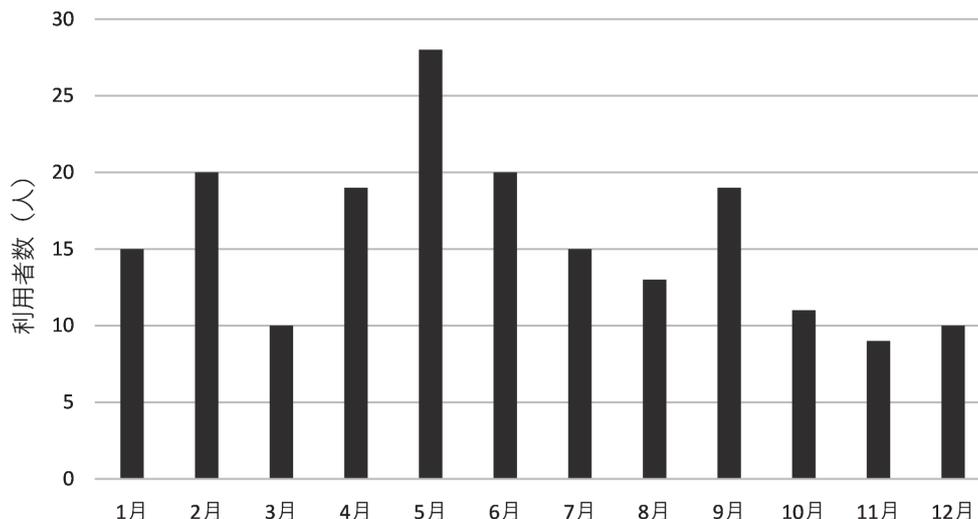


図-1 トレーナールーム月間利用者数推移

4. 処置内容

処置内容に関しては昨年と同様徒手療法（MT）が最も多くの割合を占める。併用することの多い Ex が次いで多く、昨年より Tape の割合が増加した。（図-7）。

へのサポートの呼びかけを ZOOM オンラインミーティングにて提案し、反応のあった女子ハンドボール部、男子陸上ホッケー部の利用者が増加した。昨年複数回利用のあったスキー部に関しては1件のみとなり、引き続き陸上競技部員の利用は継続的なものとなっている。

5. 利用者団体割合

最後に利用者団体の内訳を示す（図-8）。昨年度に各体育会

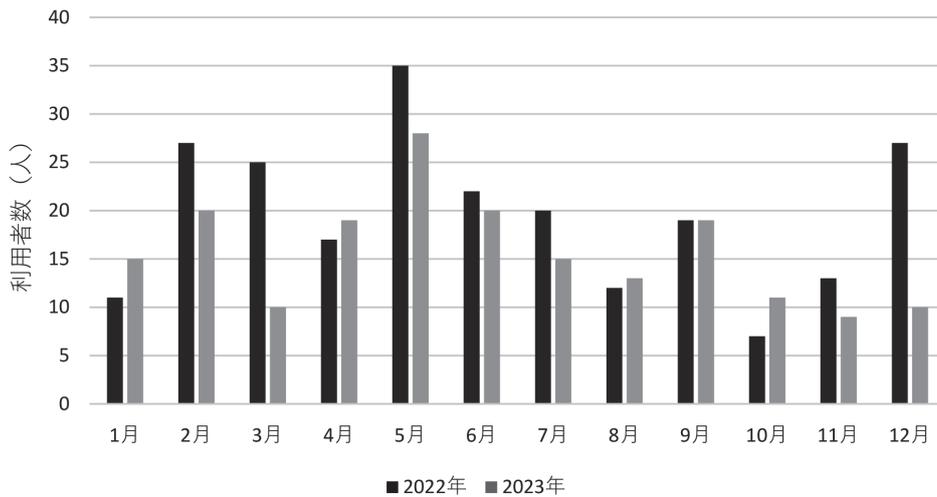


図-2 トレーナールーム月間利用者数推移 (昨年比較)

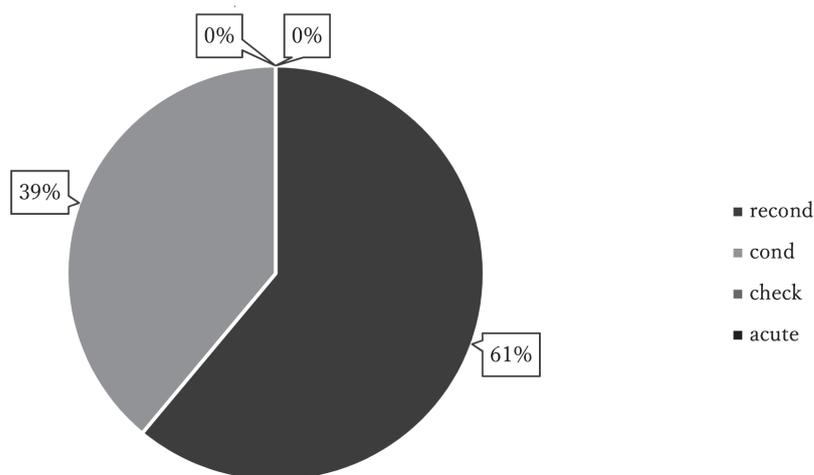


図-3 処置目的割合

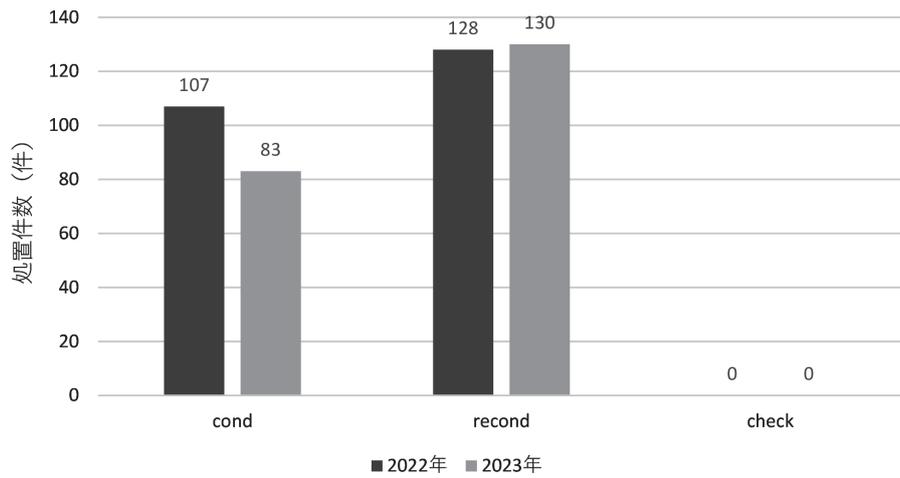


図-4 目的別処置件数 (昨年度比較)

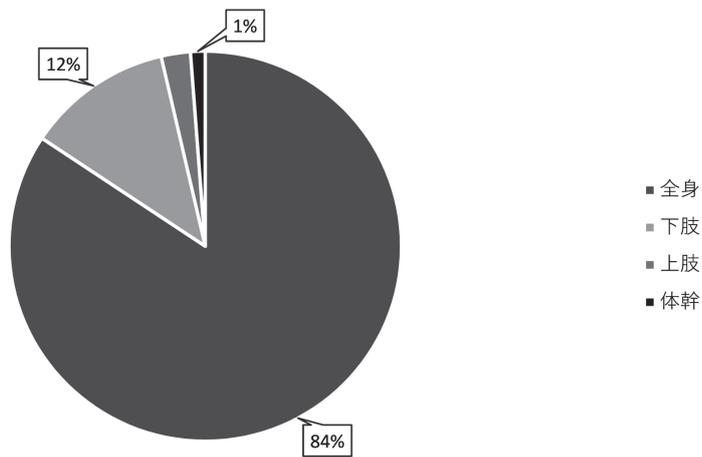


図-5 コンディショニング処置部位割合

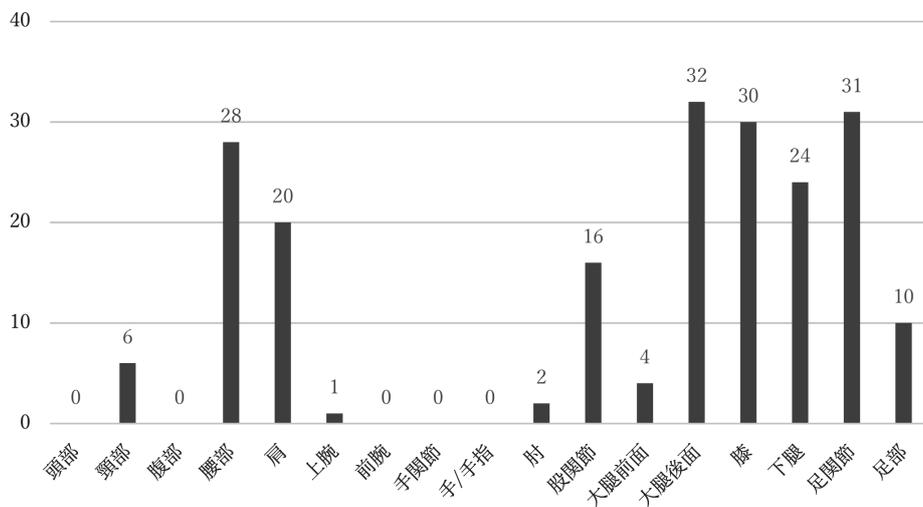


図-6 リコンディショニング処置部位別件数

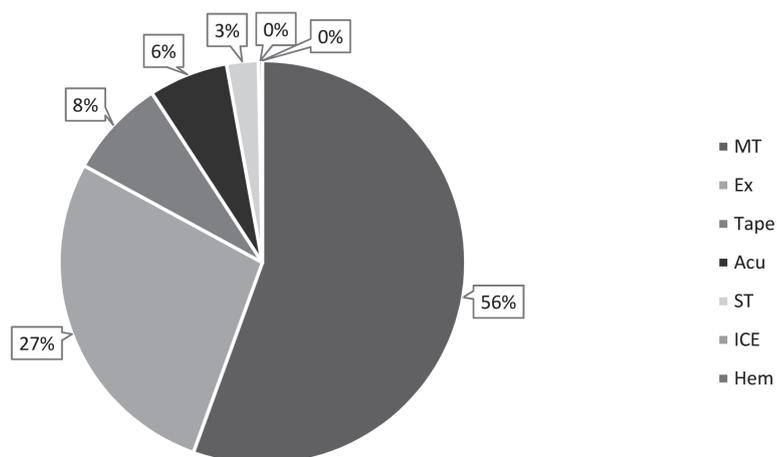


図-7 処置内容割合

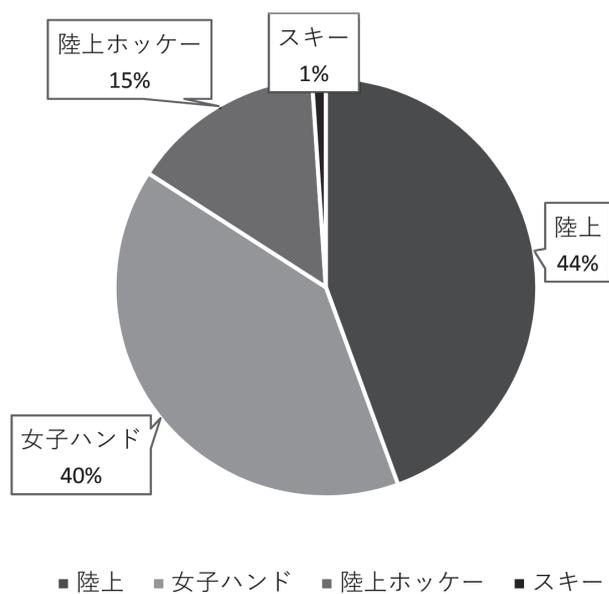


図-8